

## 【参考文献一覧】

- 藤井 忠 1866「石鍋」『東京人類学雑誌』9
- 喜田貞吉 1915「鍋と釜」『考古学雑誌』第6巻2号、日本考古学会
- 江藤正澄 1916「上代石鍋考」『考古界』第4巻8号
- 喜田貞吉 1919「茶碗」『民俗と歴史』第4巻5号
- 喜田貞吉 1920「石鍋」『民俗と歴史』第4巻6号
- 八重津輝勝 1923「肥前国雪ノ浦遺跡調査報告」『考古学雑誌』第14巻14号、日本考古学会
- 内山芳郎 1923「西彼杵郡雪の浦村における史蹟」『長崎県史跡名勝天然記念物報告』
- 津田繁二 1940「我長崎県の先史時代及び原始時代の遺蹟及び遺物の概略に就いて」『長崎談叢』第26号、長崎考古学会
- 鏡山 猛 1960「庄園村落の遺構」『史淵』81、九州史学会
- 副島邦弘 1971「IV 年の神遺跡」『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書』II、福岡県教育委員会
- 下川達彌 1974「滑石製石鍋考」『長崎県立美術博物館研究紀要』第2号、長崎県立美術博物館
- 大瀬戸町教育委員会 1980『大瀬戸町石鍋製作所遺跡』大瀬戸町文化財調査報告第1集
- 文化庁文化財保護部監修 1981『月刊文化財』5
- 正林 護・下川達彌 1981「滑石製石鍋の炭素測定値」『長崎県埋蔵文化財調査集報』IV、長崎県文化財調査報告書第55集、長崎県教育委員会
- 木戸雅寿 1982「草戸千軒町遺跡の石鍋」『草戸千軒』11、広島県草戸千軒町遺跡調査研究所
- 山崎純男 1982『海ノ中道遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第87集、福岡市教育委員会
- 森田 勉 1983「滑石製容器—特に石鍋を中心として—」『仏教芸術』148、毎日新聞社
- 下川達彌 1984「滑石製石鍋出土地名表（九州・沖縄）」『九州文化史研究所紀要』29、九州大学九州文化史研究施設
- 下川達彌 1985「石鍋の謎」『ストーンテリア』4
- 山口県教育委員会 1987『下請川遺跡』山口県埋蔵文化財調査報告書第104集
- 下川達彌 1992「西北九州の石鍋とその伝播」『海と列島文化』第4巻 東シナ海と西海文化』小学館
- 木戸雅寿 1993「石鍋の生産と流通について」『中近世土器の基礎研究』IX、日本中世土器研究会
- 木戸雅寿 1995「石鍋」『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社
- 下川達彌 1995「生活を変えた職人たち 石鍋」『中世の風景を読む』第7巻 東シナ海を囲む中世世界』新人物往来社
- 大島町教育委員会 1995『大島町郷土誌』
- 大瀬戸町 1996『大瀬戸町郷土誌』
- 西彼町教育委員会 1998『下茅場遺跡』西彼町文化財調査報告書第1集
- 鈴木康之 1998「草戸千軒町遺跡出土の滑石製石鍋」『草戸千軒町遺跡調査研究報告』1、広島県立歴史博物館
- 中島恒次郎 1998「滑石製石鍋の現状と課題」『九州土器研究会会誌』第9号、九州土器研究会
- 月川茂雄 2001『海夫道浦—石鍋が語る海の中世史』
- 新里亮人 2002「滑石製石鍋の基礎的研究—付 九州・沖縄における滑石石鍋出土遺跡集成—」『先史琉球の生業と交易—奄美・沖縄の発掘調査から—』熊本大学文学部
- 西彼町教育委員会 2003『西彼町郷土誌』
- 吉村靖徳・黒瀬茂文 2003「福岡県篠栗南蔵院の滑石製石鍋製作所」『古文化談叢』50(中)、九州古文化研究会
- 荒木伸也 2003「滑石製石鍋とその分布—滑石製石鍋製作所跡の調査：下茅場遺跡の紹介—」『海をこえての海流—石造物から中世社会を探る—』石造物研究会
- 東 貴之 2003「滑石製石鍋製作所跡について—駄馬・目一つ坊製作所跡を中心に—」『西海考古』第5号、西海考古同人会

- 石塚宇紀 2005「石鍋の研究－生産・流通・用途について－」『駒沢考古』第30号、駒澤大学考古学研究室
- 今岡照喜ほか 2005「滑石製石鍋の産地同定と流通」『中世瀬戸内の流通と交流』塙書房
- 鈴木康之 2006「滑石製石鍋の流通と消費」『鎌倉時代の考古学』高志書院
- 松尾秀明ほか 2006「『門前遺跡』長崎県文化財調査報告書第190集、長崎県教育委員会
- 鈴木康之 2007「滑石製石鍋のたどった道」『東アジアの古代文化』130号、大和書房
- 杉原敏之 2007「観世音寺の滑石製石鍋」『観世音寺－考察編－』九州歴史資料館
- 池田栄史 2007「古代・中世の日本と琉球列島」『東アジアの古代文化』130号、大和書房
- 松尾秀明 2007「石鍋の補修具－バレン状石製品－」『西海考古』第7号、西海考古同人会
- 竹中哲朗 2007「【資料紹介】西海市西彼町江崎古墳出土の陶質土器・須恵器」『西海考古』第7号、西海考古同人会
- 鈴木康之 2008「滑石製石鍋の流通と琉球列島－石鍋の運ばれた道をたどって－」『古代中世の境界領域キガイガシマの世界』高志書院
- 新里亮人 2008「琉球列島出土の滑石製石鍋とその意義」『日琉交易の黎明－ヤマトからの衝撃－』森話社
- 長崎石鍋記録会 2008『調査報告』Ⅰ
- 長崎石鍋記録会 2009『調査報告』Ⅱ
- 長崎石鍋記録会 2010『調査報告』Ⅲ
- 徳永貞紹 2010「初期滑石製石鍋考」『先史・考古学論究』Ⅴ、龍田考古学会
- 松尾秀明 2011「縦耳型石鍋の時期－長崎県内における資料を中心に－」『別府大学文化財学論集』Ⅰ、後藤宗俊先生古希記念論集刊行会
- 西海市教育委員会 2013『西海市の文化財』
- 文化庁文化財部記念物課監修 2015『史跡等重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』
- 杉原敦史 2016「滑石製石鍋の流通について－中世における長崎県本土部の港津の機能から－」『研究紀要』第6号、長崎県埋蔵文化財センター
- 松尾秀明 2016「縦耳付石鍋の生産と流通」『9～11世紀における大村湾海域の展開』長崎県考古学会
- 松尾秀明 2017『石鍋が語る中世 ホグット石鍋製作遺跡』新泉社
- 西海市 2019『第2次 西海市総合計画』
- 西海市教育委員会 2019『第二期西海市教育振興基本計画』
- 西海市 2022『第2次西海市総合計画後期基本計画 第2期まち・ひと・しごと総合戦略』